

2014年3月期 決算説明会

株式会社 エフピコ
2014年 5月 13日





2007年4月

第一回「平成18年度容器包装3R推進 環境大臣賞」
製品部門 最優秀賞を受賞

http://www.env.go.jp/recycle/yoki/b_2_approach/



2009年3月

(社)全国重度障害者雇用事業所協会より
障がい者雇用優良企業認定を取得
(ハートフル・リボン・マーク)

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/koyou/shougaisha/dl/110420-1.pdf>



2011年2月

(財)日本環境協会より
第一回「エコマークアワード2010」金賞を受賞

http://www.ecomark.jp/award/award_2010.html



2011年4月

環境大臣に対し環境先進企業として「エコ・ファーストの約束」を行い
「エコ・ファースト企業」として認定

<http://www.env.go.jp/guide/info/eco-first/index.html>

本資料取扱のご注意

本説明会のプレゼンテーションおよび配布資料に掲載する情報に関しまして、細心の注意を払っております。将来の予測等に関する情報は、現時点で入手可能な情報にもとづき、当社が判断した予測であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により実際の業績は、記述している将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があります。

本説明会の配布資料に掲載する情報は、**無断での引用や転載、複製は禁じられております。**

=目次=

◆ <u>実績及び計画</u>	経理財務本部長	池上 功	5
◆ <u>中・長期目標へ向けて</u>	代表取締役会長	小松 安弘	15
◆ <u>企業規模拡大に向けて</u>	代表取締役社長	佐藤 守正	23
◆ 添付資料			37

2014年3月期〈52期〉 実績

経理財務本部長
池上 功

決算概要 (2014年3月期 (52期) 実績)

単位: 百万円	第4四半期累計 実績								通期 計画 (修正)			通期 計画 (期初)		
	'13/3月期		'14/3月期		増減	前年比	数量	'14/3月期			'14/3月期			
	実績	構成比	実績	構成比				計画	構成比	達成率	計画	構成比	達成率	
トレー	27,579	17.4	27,792	17.2	+213	100.8%	99.0%	27,540	17.2	100.9%	28,710	16.8	96.8%	
弁当・惣菜	80,660	51.0	83,999	52.1	+3,338	104.1%	105.4%	84,110	52.4	99.9%	90,250	52.9	93.1%	
小計	108,239	68.4	111,791	69.4	+3,551	103.3%	103.0%	111,650	69.6	100.1%	118,960	69.8	94.0%	
その他製品	6,845	4.3	6,614	4.1	△231	96.6%		6,512	4.1	101.6%	6,980	4.1	94.8%	
製品売上高	115,085	72.8	118,406	73.5	+3,320	102.9%		118,162	73.6	100.2%	125,940	73.9	94.0%	
包装資材	34,145	21.6	33,920	21.1	△224	99.3%		33,447	20.8	101.4%	35,590	20.9	95.3%	
その他商品	8,960	5.7	8,793	5.5	△166	98.1%		8,890	5.5	98.9%	8,970	5.3	98.0%	
商品売上高	43,106	27.2	42,714	26.5	△391	99.1%		42,337	26.4	100.9%	44,560	26.1	95.9%	
売上高	158,192	100.0	161,121	100.0	+2,928	101.9%		160,500	100.0	100.4%	170,500	100.0	94.5%	
営業利益	14,564	9.2	9,760	6.1	△4,804	67.0%		9,760	6.1	100.0%	15,520	9.1	62.9%	
経常利益	15,122	9.6	10,054	6.2	△5,068	66.5%		10,000	6.2	100.5%	15,600	9.1	64.4%	
当期純利益	8,846	5.6	6,137	3.8	△2,708	69.4%		6,000	3.7	102.3%	9,120	5.3	67.3%	

■ 販売

製品> 価格競争を背景に、不採算取引から撤退したトレー容器が前年並みとなった一方、新機能・新デザイン容器を始めとする弁当・惣菜容器が好調

出荷枚数 : 前年比103.0%の伸長

トレー容器 : 再生原料を使用した「エコトレー」「エコAPET」を拡販

弁当・惣菜容器 : 耐寒・耐熱 発泡容器のマルチFP、
その端材を活用した非発泡容器のマルチソリッド、
新しい機能を持つ寿司・刺身容器が好調

商品> 包装資材の取扱量が拡大、ピッキングセンター投資の効果が顕在化し始めるも、グループ会社で不採算商品の見直しを行う

◇ 生産

生産性および品質の向上とともに、生産拠点の最適化を進める
関東八千代工場においてOPET(二軸延伸PET)製品の生産が本格化

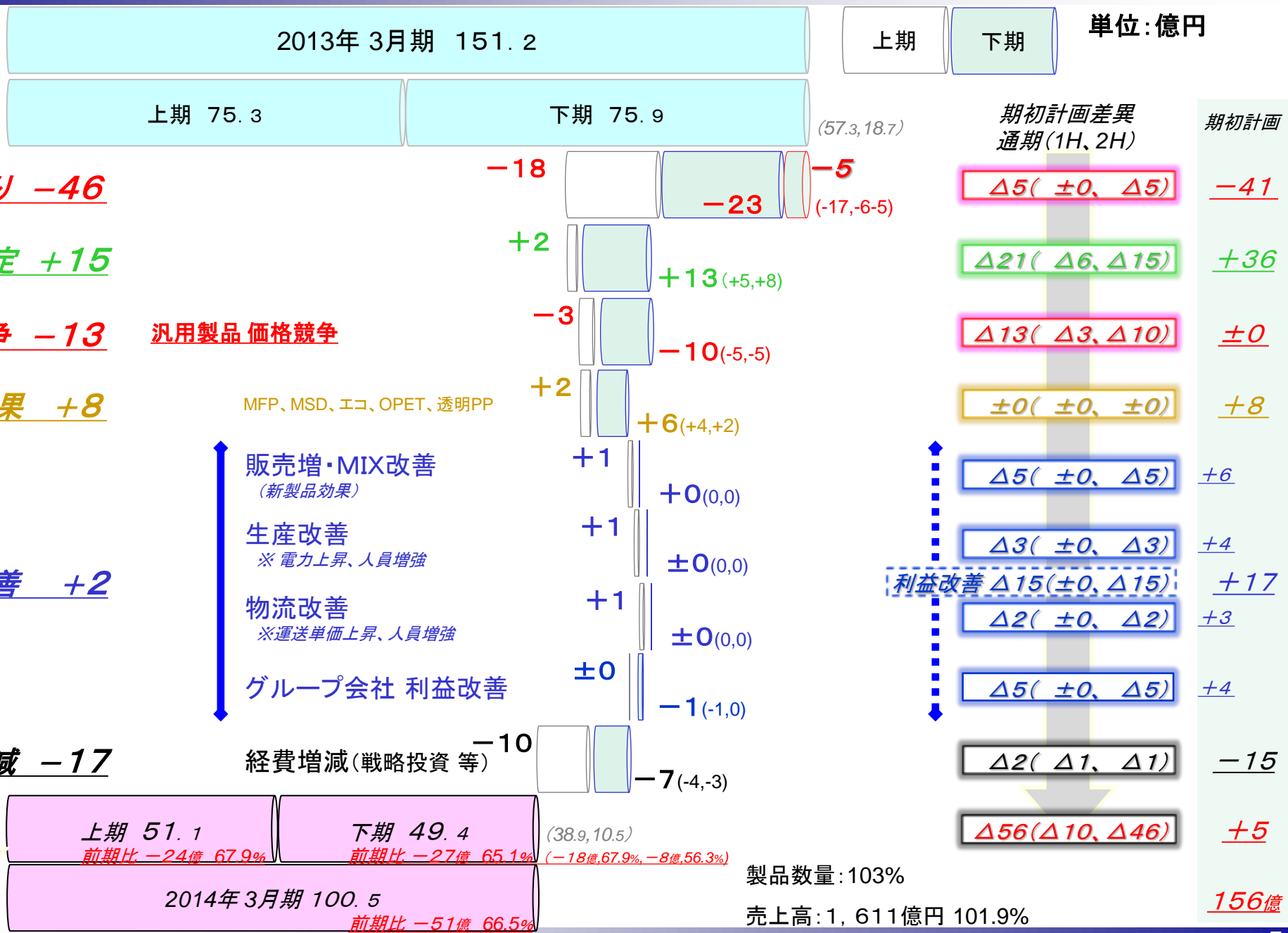
◇ 物流

全国を網羅する物流ネットワークの整備を推進
物流品質の向上とともに、流通全体でのコスト削減を図る

◇ 環境

回収量拡大により地上資源の循環および障がい者の雇用を推進、
再生原料メーカーとして原材料価格での優位性をもつ

經常利益増減 (2014年3月期 <52期> 実績)



貸借対照表 (2014年3月期〈52期〉実績)

単位: 百万円	前連結会計年度		当連結会計年度			
	'13/3月期 '13/3/31	'14/3/31	増減	'14/3月期 前年比	主な増減内訳	
流動資産	73,843	72,001	△1,842	97.5%	現金及び預金 受取手形及び売掛金 商品及び製品	+2,093 △5,852 +1,212
固定資産	98,416	108,475	+10,059	110.2%	有形固定資産	+9,994
資産合計	172,260	180,476	+8,216	104.8%		
流動負債	64,499	59,476	△5,023	92.2%	買掛金 短期借入金 リース債務 未払金 未払法人税等	△1,819 △5,089 +947 +1,286 △1,136
固定負債	31,078	40,938	+9,860	131.7%	長期借入金 リース債務	+7,049 +2,428
負債合計	95,578	100,414	+4,836	105.1%		
純資産	76,682	80,062	+3,380	104.4%	利益剰余金	+3,467
負債純資産合計	172,260	180,476	+8,216	104.8%		

- ◇ 資産 九州および関西配送拠点の拡充、八王子センターの用地取得等の戦略投資により増加、将来の収益獲得へ向け布石
- ◇ 負債 戦略投資の原資として長期借入金が増加、日銀新貸出制度の利用等により資金調達コストの圧縮を図る
- ◇ 純資産 経営体質の充実強化、および事業拡大に向けた機動的な対応への備えとして内部留保の充実へ

設備投資・研究開発費 (2014年3月期〈52期〉実績)

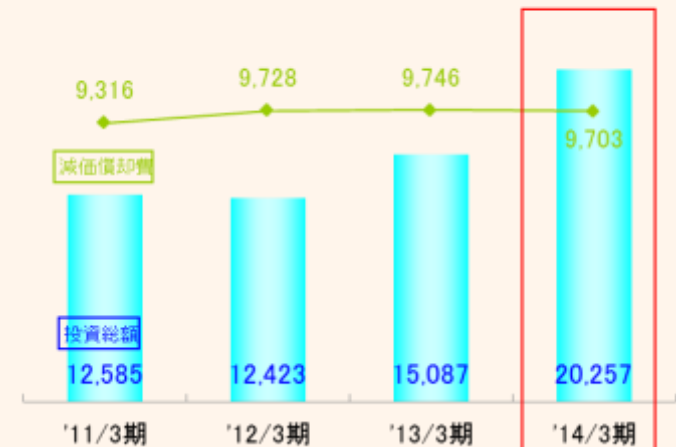
単位: 百万円	第4四半期累計 実績				通期 計画	
	'13/3月期 実績	'14/3月期			'14/3月期	
		実績	増減	前年比	計画	達成率
有形固定資産	14,783	19,750	+4,966	133.6%	20,015	98.7%
うち土地	(1,178)	(4,140)	(+2,961)	(351.2%)	(4,440)	(93.3%)
無形固定資産	303	506	+203	167.1%	355	142.8%
設備投資 (リース調達含む)	15,087	20,257	+5,170	134.3%	20,370	99.4%
土地を除く設備投資	(13,908)	(16,117)	(+2,208)	(115.9%)	(15,930)	(101.2%)
設備費用	10,107	10,000	△107	98.9%	10,330	96.8%
うち減価償却費	(9,746)	(9,703)	(△43)	(99.6%)	(9,960)	(97.4%)
研究開発費	1,062	1,148	+85	108.1%	1,090	105.4%

主な設備投資

単位: 百万円

投資総額 当期実績

◆ 透明容器設備の増設		1,169
◆ 関東第一工場リニューアル		888
◆ 物流施設の整備		
九州物流拠点	'13年 7月 稼働	1,764
関西物流拠点	'13年10月 稼働	4,516
福山物流拠点	倉庫 '14年7月、ソーター '14年11月 稼働予定	4,250
八王子物流拠点	第1期: 配送C '14年10月 稼働予定	13,800
	ピッキングC '15年 2月 稼働予定	
	第2期: 配送C '15年 9月 稼働予定	
◆ 金型		2,151
◆ IT投資		590



キャッシュ・フロー (2014年3月期 (52期) 実績)

単位: 百万円	第4四半期累計 実績		
	'13/3月期 実績	実績	'14/3月期 主な内訳
営業活動によるC/F	15,806	17,981	税金等調整前当期純利益 9,883 減価償却費 9,703 売上債権の減少 5,771 たな卸資産の増加 △ 1,318 仕入債務の減少 △ 1,966 法人税等の支払 △ 5,345
投資活動によるC/F	△ 13,076	△ 11,766	有形固定資産の取得 △ 11,568
フリーキャッシュフロー	2,730	6,214	
財務活動によるC/F	△ 2,579	△ 4,120	借入金等の純増加額 1,958 配当金の支払額 △ 2,669 リース債務の返済 △ 3,408
現金及び現金同等物の増減額	150	2,093	
現金及び現金同等物の期末残高	14,060	16,153	

利益を背景に営業CFは堅調に推移、九州および関西配送拠点の拡充、八王子センターの用地取得を始めとする戦略投資を実施しつつ、フリーキャッシュフローはプラス

2015年3月期〈53期〉 計 画

決算計画概要 (2015年3月期〈53期〉計画)

	通期実績		通期計画				上期計画			
	'14/3月期 実績	構成比	計画	'15/3月期 構成比	増減	前年比	計画	'15/3月期 構成比	増減	前年比
単位: 百万円										
トレー	27,792	17.2	27,930	16.7	+137	100.5%	13,820	16.8	+12	100.1%
弁当・惣菜	83,999	52.1	86,370	51.7	+2,370	102.8%	43,280	52.6	+1,042	102.5%
小計	111,791	69.4	114,300	68.4	+2,508	102.2%	57,100	69.4	+1,055	101.9%
その他製品	6,614	4.1	6,700	4.0	+85	101.3%	3,200	3.9	+20	100.6%
製品売上高	118,406	73.5	121,000	72.5	+2,593	102.2%	60,300	73.3	+1,075	101.8%
包装資材	33,920	21.1	37,200	22.3	+3,279	109.7%	17,560	21.3	+708	104.2%
その他商品	8,793	5.5	8,800	5.3	+6	100.1%	4,440	5.4	+1	100.0%
商品売上高	42,714	26.5	46,000	27.5	+3,285	107.7%	22,000	26.7	+709	103.3%
売上高	161,121	100.0	167,000	100.0	+5,878	103.6%	82,300	100.0	+1,785	102.2%
営業利益	9,760	6.1	10,340	6.2	+579	105.9%	4,570	5.6	△360	92.7%
経常利益	10,054	6.2	11,100	6.6	+1,045	110.4%	5,200	6.3	+87	101.7%
当期純利益	6,137	3.8	6,840	4.1	+702	111.4%	3,200	3.9	+91	102.9%
償却前経常利益	19,758		22,335		+2,576	113.0%	10,200		+492	105.1%

■ 販売

製品> 新機能・新デザイン容器、当社オリジナル製品を中心に拡販

出荷枚数 : 前年比102.7%の伸長
 トレー容器 : 再生原料を使用した「エコトレー」「エコAPET」を拡販
 弁当・惣菜容器 : 耐寒・耐熱 発泡容器のマルチFP、
 その端材を活用した非発泡容器のマルチソリッド、
 OPET(二軸延伸PET)、新透明PP等の販売増を見込む

商品> 全国をフルカバーする物流ネットワークを最大限に生かし、
 包装資材の取扱量を拡大

◇ 生産

独自素材の生産設備増強、研究開発拠点強化による
 新素材・新製品開発のスピードアップと品質向上

◇ 物流

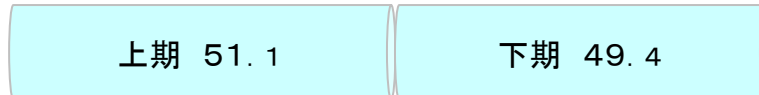
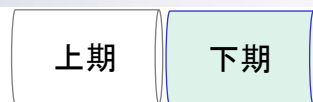
全国を網羅する物流ネットワークの整備を継続
 福山、八王子物流拠点の稼働を開始、更なるサービスレベルの向上へ

◇ 環境

地上資源の循環および障がい者の雇用を推進、
 再生原料メーカーとして原材料価格での優位性を確保

經常利益 計画増減 (2015年3月期 <53期> 計画)

単位: 億円



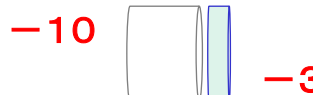
原料値上り -10



前期製品価格改定効果 +17



前期製品価格競争影響 -13



新素材効果 +15

MFP、MSD、エコ、OPET、透明PP



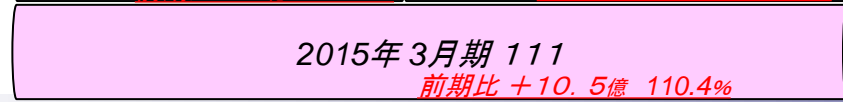
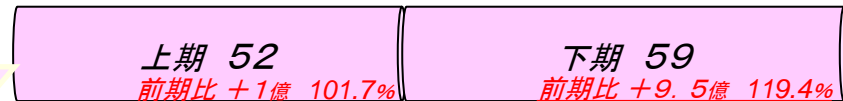
利益改善 +17



電力@影響: -3.5億

運送@影響: -2億

経費増減 -15.5



製品数量: 102.7%

売上高: 1,670億円 (103.6%)

設備投資・研究開発費 計画 (2015年3月期 (53期) 計画)

単位: 百万円	通期実績	通期計画			上期計画		
	'14/3月期 実績	'15/3月期			'15/3月期		
		計画	増減	前年比	計画	増減	前年比
有形固定資産	19,750	25,800	+6,049	130.6%	14,470	+1,485	111.4%
うち土地	(4,140)	(480)	(△3,660)	(11.6%)	(480)	(△3,660)	(11.6%)
無形固定資産	506	200	△306	39.4%	75	△113	39.7%
設備投資 (リース調達含む)	20,257	26,000	+5,742	128.3%	14,545	+1,372	110.4%
土地を除く設備投資	(16,117)	(25,520)	(+9,402)	(158.3%)	(14,065)	(+5,032)	(155.7%)
設備費用	10,000	11,455	+1,454	114.5%	5,120	+372	107.9%
うち減価償却費	(9,703)	(11,235)	(+1,531)	(115.8%)	(5,000)	(+405)	(108.8%)
研究開発費	1,148	1,270	+121	110.6%	575	△1	99.7%

※研究開発施設の強化

主な設備投資

単位: 百万円

投資総額 当期計画

◆ OPET (二軸延伸PET) 製造設備の増設		2,670	2,505
◆ 透明PP製造設備の増設			2,270
◆ 開発・研修棟		2,450	2,200
◆ 物流施設の整備			
福山物流拠点 倉庫 '14年7月、ソーター '14年11月 稼働予定		4,250	2,610
八王子物流拠点 第1期: 配送C '14年10月 稼働予定		13,800	6,860
ピッキングC '15年2月 稼働予定			
第2期: 配送C '15年9月 稼働予定			
◆ 金型			2,360
◆ IT投資			450



中・長期目標へ向けて

代表取締役会長
小松 安弘

決算のポイントと今後の見通し

》オリジナル製品の拡販

＞世界初の素材・機能

- ◇ マルチFP(MFP)、マルチソリッド(MSD)
- ◇ OPET(二軸延伸PET) 透明容器
- ◇ 新透明PP容器

＞持続的な新製品投入

- ◇ 「エピックフェア2014」効果
- ◇ 新デザイン容器
- ◇ 新機能容器

＞再生レジンメーカーへ

- ◇ 「エコレー」
- ◇ 「エコAPET」

》戦略投資

- ☆ '13.7 九州物流拠点 稼働
- ☆ '13.10 関西物流拠点 稼働
- ☆ 八王子 物流拠点 '14.10 配送C、'15.2 ピッキングC 稼働予定
- ☆ 福山クロストックセンター '14.7 倉庫、'14.11 ソーター 稼働予定
- ☆ 開発・研修棟 '14.12
- ☆ OPET(二軸延伸PET)シート押出 2号機稼働、成型ライン増設
- ☆ 透明PP生産ライン増強
- ☆ PET生産ライン増強

》地上資源循環への取組み

- ◇ クロネス量産効果
- ◇ 障がい者雇用
- ◇ 西日本ペットボトル(株)をグループに '14.6

》汎用製品 価格競争への対応

》原材料価格高騰への対応

》徹底した社内改善

販売計画
売上高 **1,670**億
103.6%

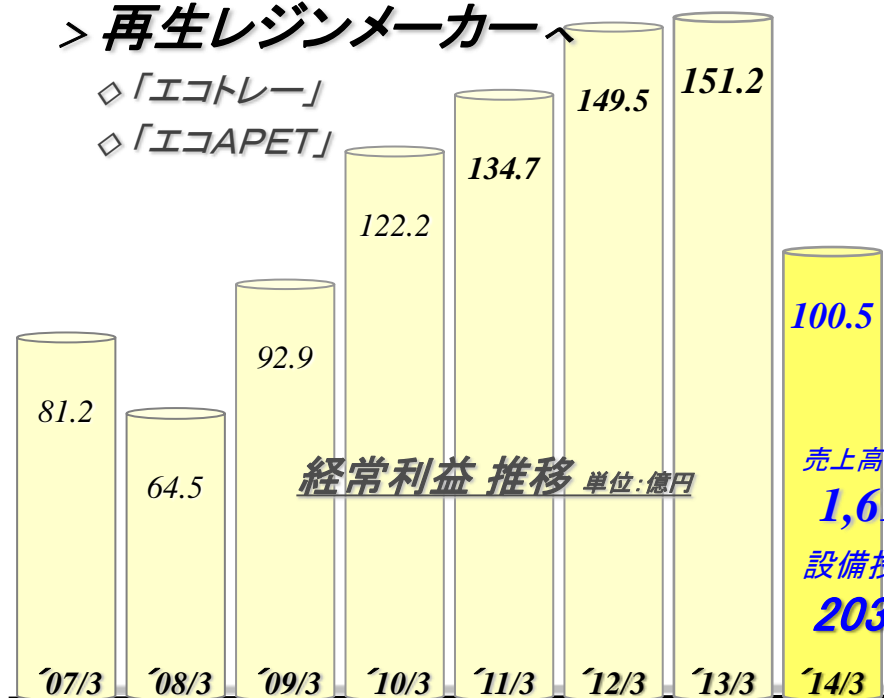
経常利益計画
111億
110.4%

設備投資計画
260億(内、土地5億)
'15/3

目標とする中期経営指標
1株当たり純利益 **225**円

売上高 **1,611**億
設備投資 **203**億(内、土地41億)

経常利益推移 単位:億円



原材料価格高騰への対応

☆ 新製品への切替 MFP、MSD、エコ、OPET、新透明PP

☆ 前期には製品価格改定 3%~9% '13年5月20日発表 '13年6月21日出荷分より

汎用製品は
バージンからエコへ

透明製品は
OPSからPET・OPET・PPへ

< 各社発表 >

B社	'13/7/1出荷	PS系	9%	他6%
C社	'13/7/22出荷	PS系	9%	他6%
D社	'13/6/21出荷	PS系	9%	他6%
E社	'13/7/11出荷	PS系	10%	他8%

★ 各社価格改定発表するも、量の拡大へ

★ 汎用製品で価格競争続く

⇒ 一部の不採算取引より撤退

各社再度発表

B社	'14/6/1出荷	製品全般	15%以上
C社	'14/6/1出荷	製品全般	15%以上
D社	'14/6/21出荷	製品全般	15%以上
E社	'14/5/1出荷	製品全般	15%以上

☆ オリジナル製品: 売上高構成比を高め 収益改善と安定を図る

マルチFP (MFP) チルドからレンジアップまでカバーする発泡PS容器

マルチソリッド (MSD) MFPの端材を活用した非発泡PS容器

OPET (二軸延伸PET) OPSの問題点を克服したPET透明容器

新透明PP レンジアップ対応透明容器

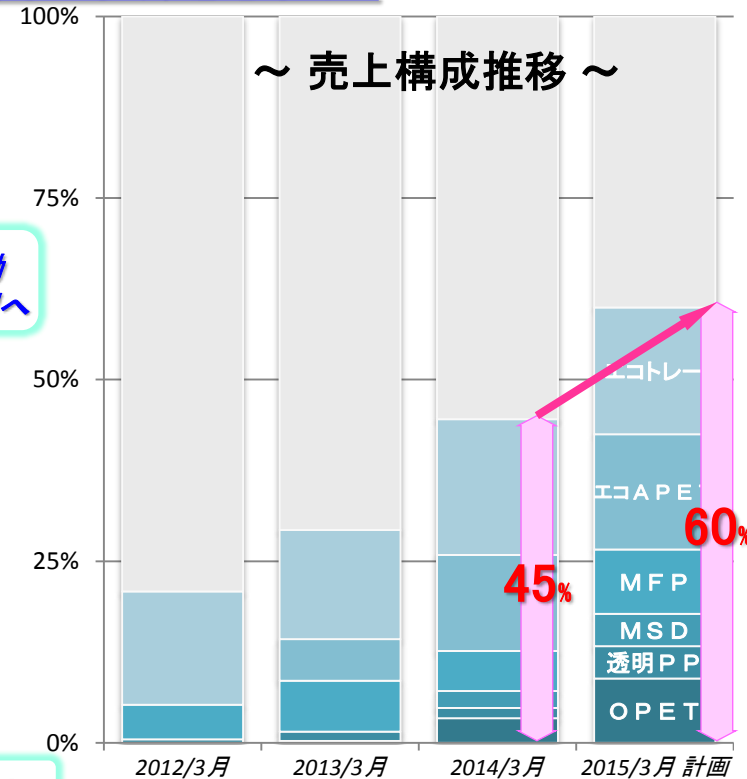
販売増に向けて、ライン改造とライン増設
二軸延伸への挑戦

エコトレー リサイクルPSP容器 **売上高189億円** '14/3期

エコAPET リサイクルPET透明容器 **売上高99億円** '14/3期

新機能容器 漏れ難い、内容物がズレ難い、ツマの削減、ボリューム感の訴求、...

シート押出2号機稼働
関東+福山 生産体制へ



☆ 汎用製品: 徹底した原価低減により販売増に備える

OPET (二軸延伸PET) OPSの問題点を克服したPET透明容器

新透明PP レンジアップ対応透明容器

フードパック上市へ

フードパック上市へ

エフピコフェア2014
この売り場やってみよう!
知恵と工夫百選
'14年 3月11日~13日
ユーザー様を中心に
1万3千名様 来場

流通コスト低減と物流インフラ整備

福山クロスドックセンター '14/7 倉庫、'14/11 ソーター稼働予定



地上3階建
延床面積 10,200坪
投資額 43億円

八王子センター '14/10 配送C、'15/2 ピッキングC稼働予定



地上5階建
延床面積 23,700坪
投資額 138億円



'13/7:九州物流拠点 拡充



地上3階建
延床面積 5,700坪
投資額 18億円

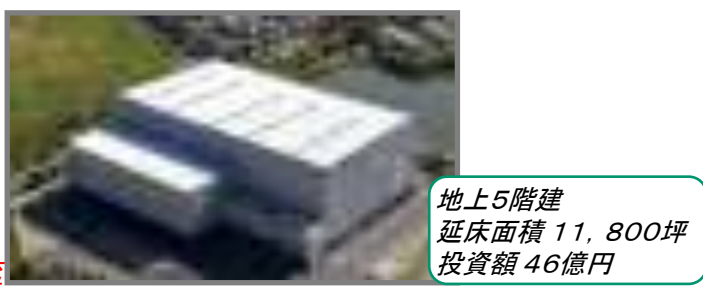
'13/10:関西物流拠点 拡充



2ppmの
ピッキングクオリティ

- ・配送C:8
- ・ピッキングC:13

'14年度末 物流拠点規模	'12年比
配送センター:15万15百坪	122%
ピッキングセンター:4万14百坪	130%



地上5階建
延床面積 11,800坪
投資額 46億円

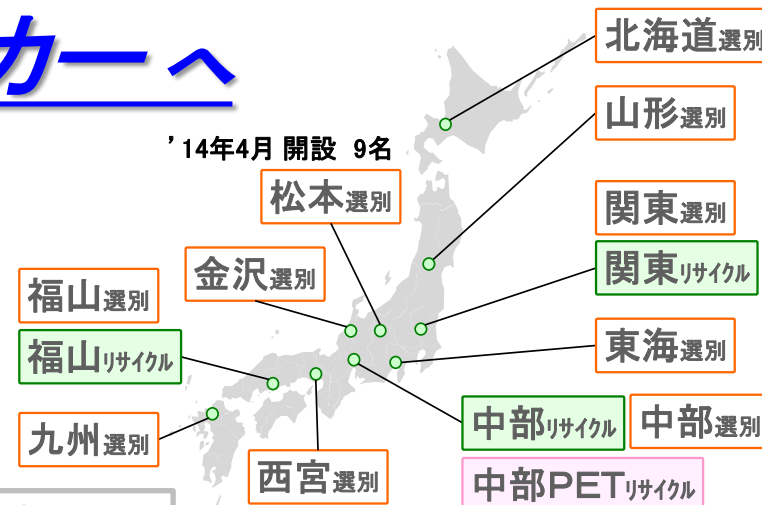
再生レジンメーカーへ

障がい者雇用数: **647** (雇用実人数372名+33名)

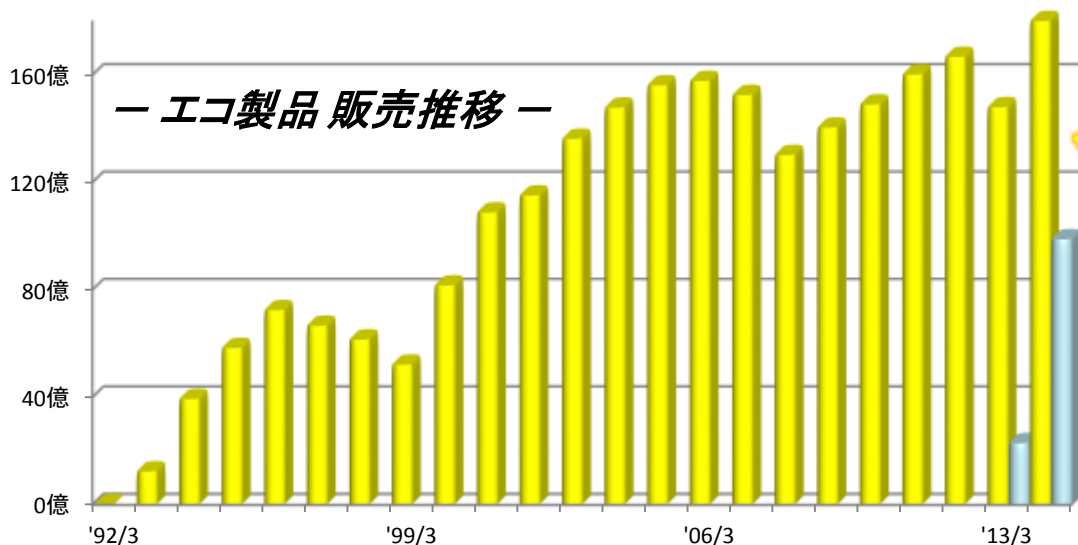
- ・ 特例子会社
- ・ 就労継続支援A型事業所

雇用率 **16.0%**
('14年3月末)

「環境立国・日本」



- ・ 選別センター: 10
- ・ リサイクル工場: 3
- ・ PETリサイクル工場: 1



エコレー (PSP) 1992年 3月 上市
'13年3月期 148億円
⇒ '14年3月期 **189**億円を販売

エコAPET 2012年 5月 上市
'13年3月期 23億円
⇒ '14年3月期 **99**億円を販売

'14/6/2 西日本ペットボトルリサイクル(株)をグループに

設備投資

☆ 物流

- ・九州物流拠点 拡充 '13年7月稼働
- ・関西物流拠点 拡充 '13年10月稼働
- ・八王子物流拠点 新設 '14年10月配送C、
'15年2月ピッキングC稼働予定
- ・福山クロストックセンター '14年7月倉庫、11月ソーター稼働予定



地上3階建
延床面積 5,700坪
投資額 18億円



地上5階建
延床面積 11,800坪
投資額 46億円

☆ 生産

- ・関東第一工場 リニューアル '13年6月稼働
- ・生産設備
- OPETシート押出し2号機 稼働 OPET成型ライン 増強



地上5階建
延床面積 23,700坪
投資額 138億円

OPETシート押出し2号機 稼働 OPET成型ライン 増強

MFP・MSD生産ライン 増強

透明PP生産ライン 増強

PET生産ライン 増強



地上3階建
延床面積 10,200坪
投資額 43億円



地上4階建
延床面積 2,000坪
投資額 25億円

☆ 開発

- ・『開発・研修棟』建設

~14年3月期 設備投資 **203**億円

(内、土地41億円)

~15年3月期 設備投資 **260**億円を計画

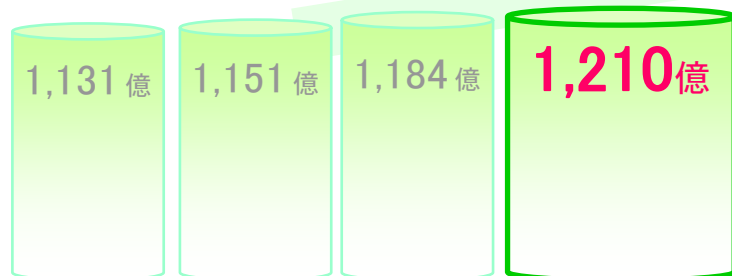
(内、土地5億円)

中期目標

経常利益率 12%

5千億円マーケットでのシェア拡大

製品



- ☆ 世界初のシート・素材
- ☆ 新マーケット 創造
- ☆ 持続的な新製品投入
- ☆ M & A

◇ グローバルマーケット

製品
2,000億

2兆円マーケットへの挑戦

商品



- ☆ BtoB 取組 加速
- ☆ 問屋サポート(インフラ活用)
共同仕入、共同配送

経常利益率 6%

商品
1,000億

売上高 1,557億 1,582億 1,611億 **1,670億** → 3,000億

経常利益 149.5億 151.2億 100.5億 **111億** → 300億

50期 51期 52期 **53期 計画**

中期目標

設備投資 124億 151億 203億 **260億**

減価償却 97.3億 97.5億 97.0億 **112億**

償却前 経常利益 246.8億 248.7億 197.5億 **223億**

☆ 戦略投資先行

目標とする中期経営指標

1株当たり純利益 **225円**

企業規模拡大に向けて

代表取締役社長
佐藤 守正

マーケットの状況

オーバーストアによる競争激化

ナショナルチェーンの地方進出

CVSの旺盛な出店

他業種(ドラッグストア・ホームセンター)からの参入

プライベートブランドの拡大

人口減の一方で世帯数は増加

単独世帯の増加

高齢化世帯の増加

世帯構成人数は減少の一途

地方スーパーの優劣が更に進行

地方SMの淘汰

更なる合理化要請

インスタアからアウトパックへ

ロングライフ商品

地方問屋の経営悪化

物流合理化

Cランク品在庫削減

新技術

商品調達力

新製品開発

PPSA シリーズ
電子レンジで
温められるので
商品の幅が広がります!

多用途に使用される、SAシリーズ。その食材の中で、温かい商品を持ち帰ったり、電子レンジで美味しく食べられる商品はPPSAシリーズがおすすめです。
(電子レンジ110℃以下OK)

米飯系
(赤飯、おこわ 等)

定番商品

トレンド商品 チーズ、ソースをトッピングした、購買意欲を高める商品にお勧めです。

肉惣菜系
(ステーキ、唐揚げ、手羽先、とんかつ 等)

焼・揚げ物系
(天ぷら、エビフライ、コロッケ、餃子、焼売、焼き魚 等)

スナック系
(焼きそば、お好み焼き、たこ焼き 等)

PPSAシリーズ

64サイズ が揃いました

スチーム系
(野菜セット、カキ 等)

PPSAシリーズ 「生鮮が売れない」そんな悩みを解決

＜生鮮食品の課題＞

1. 量目が、個食に対応できていない。
2. 料理離れへの対応ができていない。
3. 余計な味をつけると、好みに合わない。
4. 加熱するだけで美味しいことが伝わっていない。



素材の味を活かし
個食量目に対応

すぐ食べれる生鮮商品づくり

- ◆ 旬
- ◆ 地産地消
- ◆ 無添加
- ◆ 有機栽培

「レンジデリ」の展開

PPSAシリーズ 実例

活きの良さを



ハマグリ



出来立てを



豚しゃぶ



更においしく



みたらし団子



とろーりプルプルに

透明容器素材の切り替え

OPS:二軸延伸ポリスチレン

- ☆ 透明性がある
- ☆ 耐熱性: +80°C
- ★ 耐油性に劣る
- ★ 軽量化に限界

PS価格 '13/3AV '15/3AV
¥187/kg → ¥231/kg (24%UP)

OPS価格 '13/3AV '15/3AV
¥247/kg → ¥291/kg (18%UP)

新マーケット
創造

OPET:二軸延伸ポリエチレンテレフタレート

- ☆ 透明性が高い
- ☆ 耐油性に優れる
- ☆ 耐熱性がOPSと同等: +80°C
- ☆ 延伸により軽量化が可能
- ★ 成型が難しい

- > OPETシート押出機 2ライン体制へ
- > 福山地区に成型ライン増設・稼働

APET価格 '13/3AV '15/3AV
¥140/kg → ¥145/kg (4%UP)

新透明PP:ポリプロピレン

- ☆ 耐熱性がある: +110°C
- ☆ 耐油性に優れる
- ☆ 透明性がOPSと同等

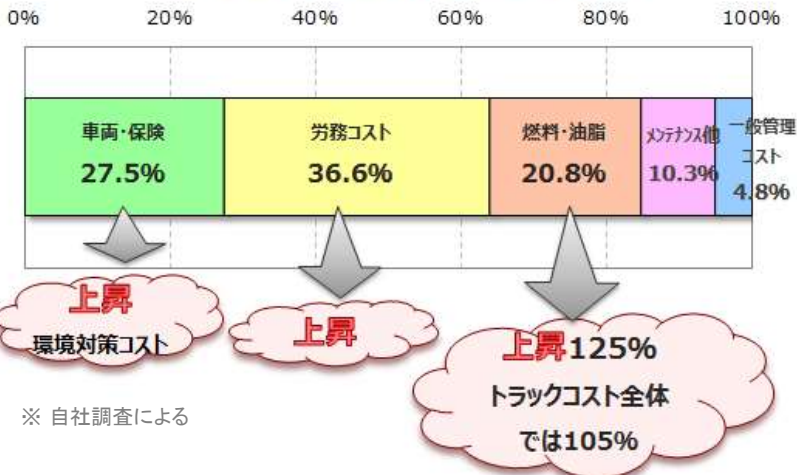
- > 成型ライン改造により生産量アップ
- > 成型ライン増設

PP価格 '13/3AV '15/3AV
¥185/kg → ¥214/kg (16%UP)

※ 原料価格は、一般的な市場価格を平均したものです。

流通業界に押し寄せるコスト上昇

◆トラックコストの原価構成



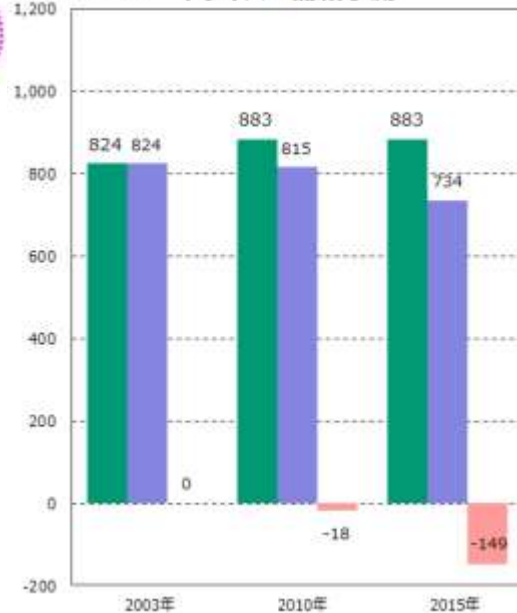
※ 自社調査による

◆市場でのチャーター運賃の変化



※ (社)全日本トラック協会、及び自社調査による

単位：千人 ドライバー需給予測



※ 国土交通省 平成20年9月
「輸送の安全向上のための優良な
労働力(トラックドライバー)確保対策の検討」報告書より

当社単体の一般管理費における

・運送費は **141**億円

・人件費は **47**億円

物流ネットワーク整備 -2

高品質で効率的な物流サービスにより

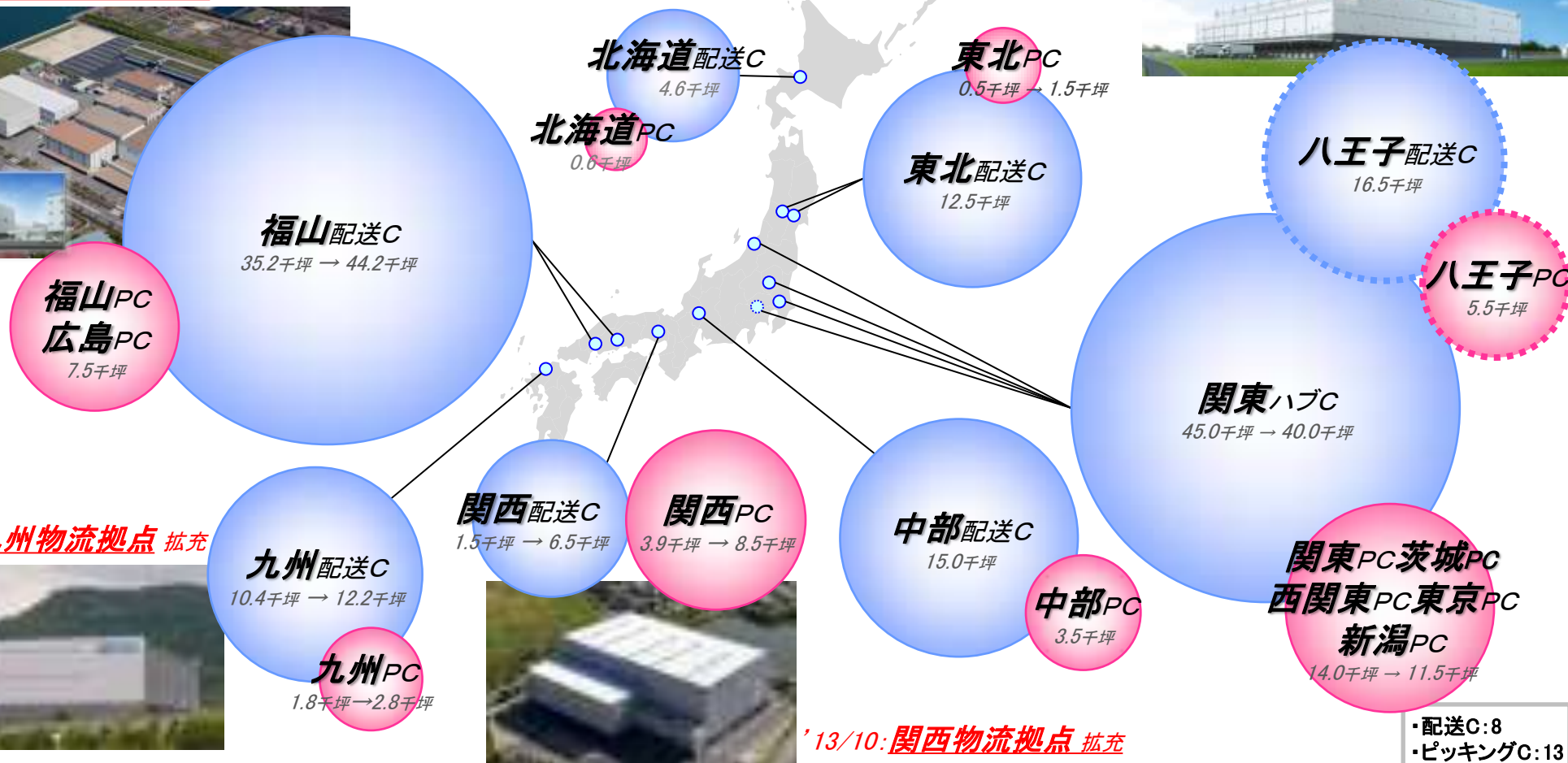
全国をフルカバー

2012年 2014年
 配送C: 12万42百坪 → 15万15百坪 122%

ピッキングC: 3万18百坪 → 4万14百坪 130%

八王子センター '14/10 配送C、'15/2ピッキングC稼働予定

福山クロスドックセンター '14/7 倉庫、'14/11 ソーター稼働予定



'13/7: 九州物流拠点 拡充



'13/10: 関西物流拠点 拡充



・配送C: 8
 ・ピッキングC: 13

物流ネットワーク整備 -3

2011年5月 稼働

中部第2配送C・P C



2013年7月 稼働

九州第2配送C・P C



2013年10月 稼働

関西第1配送C・P C



福山クロスドックC



2014年7月 倉庫、11月 ソーター

八王子配送C・P C



2014年10月 配送C、2015年2月 ピッキングC

福山クロスドックセンター 2014年7月 倉庫、11月 ソーター

福山クロスドックセンター



建設中

地上3階建
延床面積 10,200坪
投資額 43億円

コンベアー接続

コンベアー接続

コンベアー接続

コンベアー接続

- ・ 保管能力: +10万ケース
- ・ トラック積込: ミルクラン方式から クロスドック方式へ
- ・ 出荷業務の大幅な改善

八王子センター 2014年10月 配送C、2015年2月 ピッキングC



地上5階建
延床面積 23,700坪
投資額 138億円

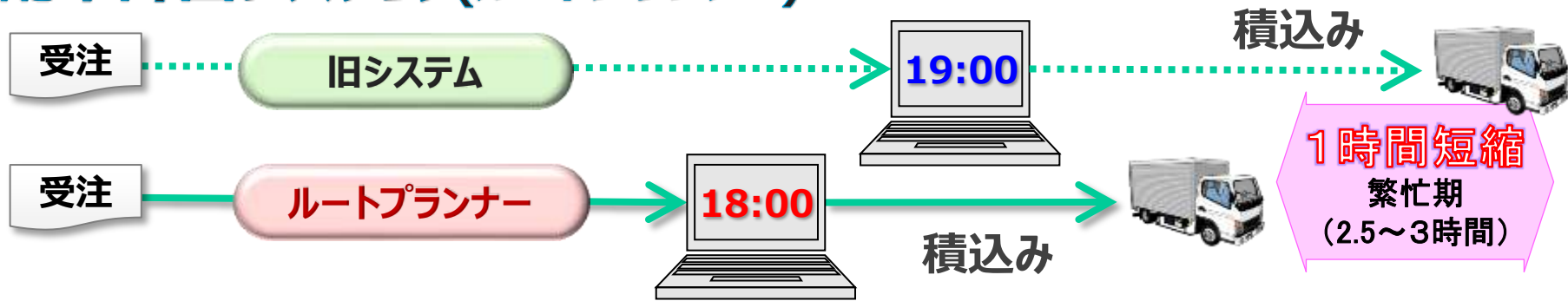


- ・ 東西より 関東全域をカバー
- ・ **トータルコスト削減**
- ・ リスク分散

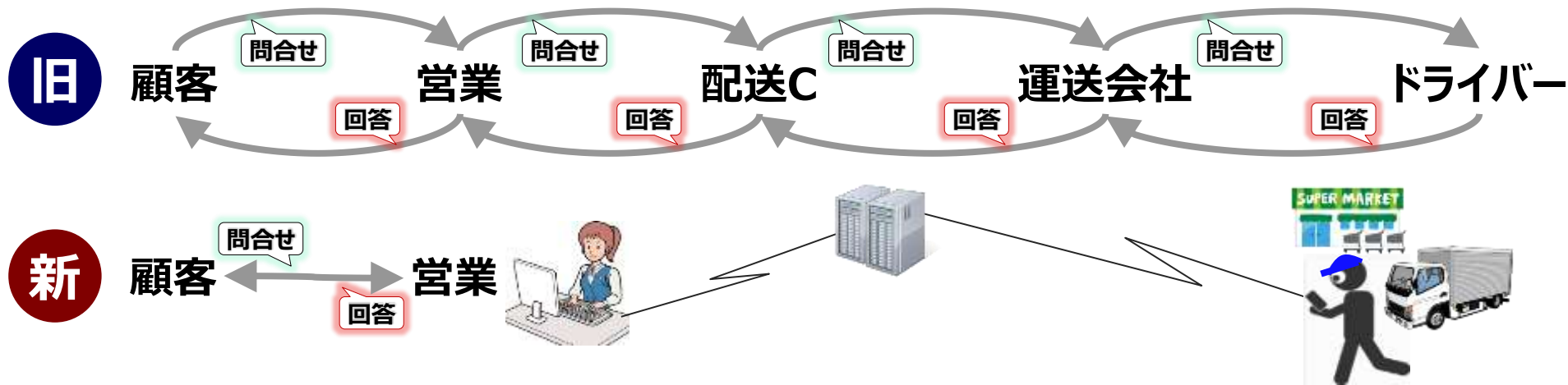


物流ネットワーク整備 -6

《1》配車計画システム (ルートプランナー)



《2》配送状況確認システム (RDチェックシステム) リアルデリバリー・チェックシステム



《3》製品梱包サイズ最適化の検討



トータルコスト削減

物流ネットワーク整備 へ向けた ロードマップ

2013年度

2014年度

2015年度

インフラの増強（出荷能力アップ）

九州

関西

福山

八王子

処理能力アップ

スピード・精度向上のシステム構築（処理能力アップ）

ルートプランナー

S&S システム

ソフト&スケジュール・システム

RDチェックシステム

リアルデリバリー・チェックシステム

音声ピック

生産性アップ

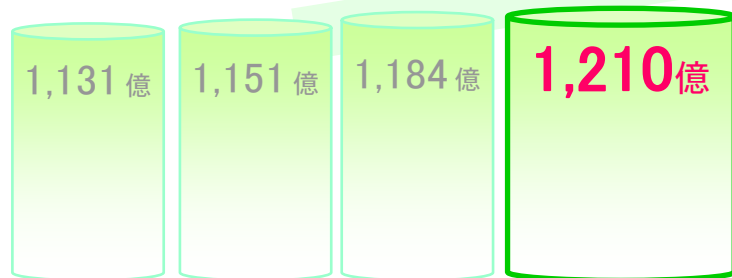
梱包サイズ最適化

中期目標

経常利益率 12%

5千億円マーケットでのシェア拡大

製品



- ☆ 世界初のシート・素材
- ☆ 新マーケット 創造
- ☆ 持続的な新製品投入
- ☆ M & A

◇ グローバルマーケット

製品
2,000 億

2兆円マーケットへの挑戦

商品



- ☆ BtoB 取組 加速
- ☆ 問屋サポート(インフラ活用)
共同仕入、共同配送

経常利益率 6%

商品
1,000 億

売上高 1,557 億 1,582 億 1,611 億 **1,670 億** → **3,000 億**

経常利益 149.5 億 151.2 億 100.5 億 **111 億** → **300 億**

50期 51期 52期 **53期 計画**

中期目標

設備投資 124 億 151 億 203 億 **260 億**

減価償却 97.3 億 97.5 億 97.0 億 **112 億**

償却前 経常利益 246.8 億 248.7 億 197.5 億 **223 億**

☆ 戦略投資先行

目標とする中期経営指標

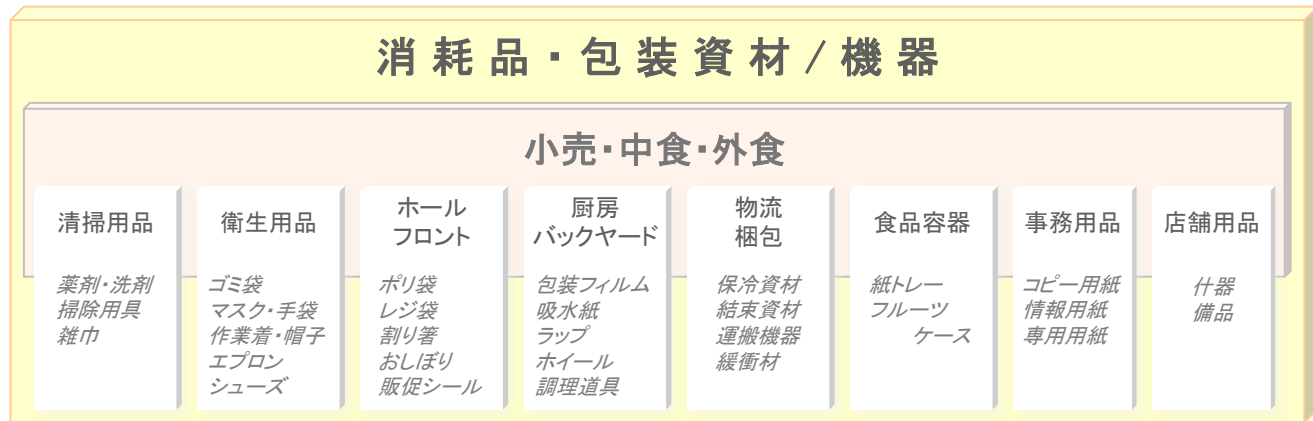
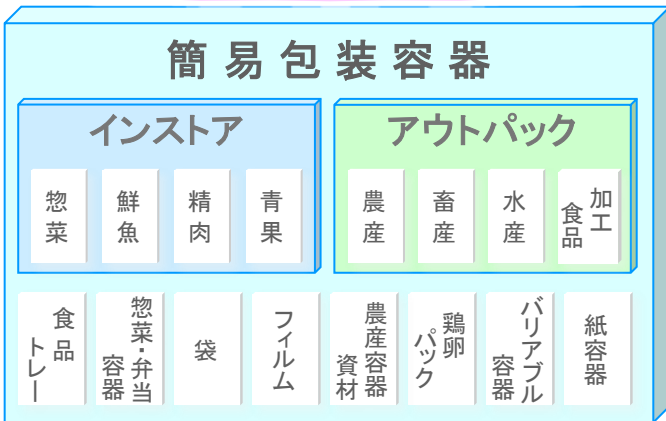
1株当たり純利益 **225円**

添付資料

マーケットへの取り組み

製品 市場規模: **5千億円**

商品 市場規模: **2兆円超**



得意分野での
優位性 確立

新規分野の攻略

問屋 サポート

事業提携・M&A

世界初の素材・機能

エフピコ物流・アイロジック

エフピコ グループカ

製品・素材力 提案力 調達力 物流力 SCM 環境経営 社会責任 インフラ

エフピコ商事

包装資材・消耗品 メーカー

世界初の素材・シート シート加工メーカーからの脱却

PP:ポリプロピレン

- ☆ 耐熱性がある: +110°C
- ☆ 耐油性に優れる
- ★ 発泡が難しく、軽量化しにくい
- ★ コシ強度が低い
- ★ 耐寒性に劣る
- ★ 透明性が出難い



新透明PP

- ☆ 耐熱性がある: +110°C
- ☆ 耐油性に優れる
- ☆ 透明性がOPSと同等

PS:ポリスチレン



PSP:発泡PS

- ☆ 成型性が良い
- ☆ 原材料比率が低い
- ☆ 軽量化が可能
- ☆ 断熱性が高い
- ★ 耐熱性が低い: +70°C
- ★ 耐油性に劣る



MFP:マルチFP :発泡PS

- ☆ 成型性が良い
- ☆ 原材料比率が低い
- ☆ 断熱性が高い
- ☆ 耐油性に優れる
- ☆ 幅広い温度帯をカバー
-40°C ~ +110°C
- ☆ コシ強度がある
- ☆ 更なる軽量化が可能



PET:ポリエチレンテレフタレート

- ☆ 最後発樹脂
- ☆ 透明性が高い
- ☆ 耐油性に優れる
- ★ 耐熱性が低い: +60°C
- ★ 比重が大きい

OPET:二軸延伸PET

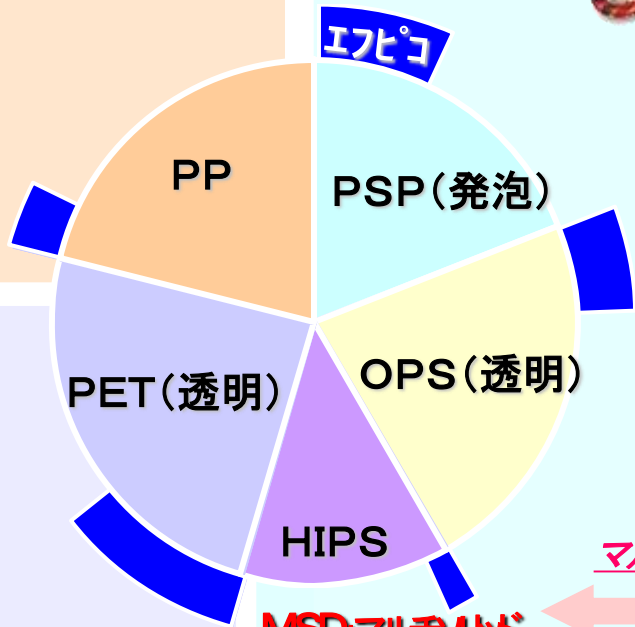
- ☆ 透明性が高い
- ☆ 耐油性に優れる
- ☆ 耐熱性がOPSと同等: +80°C
- ☆ 延伸により軽量化が可能
- ★ 成型が難しい



MSD:マルチリド :非発泡PS

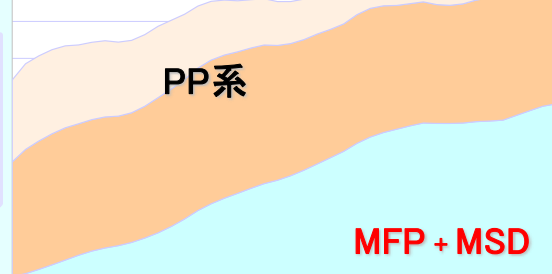
OPS:二軸延伸PS

- ☆ 透明性がある
- ☆ 耐熱性: +80°C
- ★ 耐油性に劣る
- ★ 軽量化に限界



マルチFP端材の循環

耐熱容器本体 販売状況



※ 中央円グラフ:素材別 シェア (重量ベース)

【施設見学のご案内】

随時受付: 経営企画室 児玉 03-5325-7756

中部施設

・最寄駅: JR東海 岐阜羽島駅
・見学時間: 3時間

- ☆ 選別センター
 - ・発泡PS容器 色選別
 - ・透明容器 素材選別
- ☆ リサイクル工場
 - ・PS容器リサイクル
 - ・PET容器リサイクル、PETボトルリサイクル
- ☆ 配送センター・ピッキングセンター
- ☆ 生産工場
 - ・PSP(発泡PS)製品生産



PET効ニカルリサイクルプラント

PETリサイクル



容器選別
PSリサイクル



中部ピッキングセンター
中部第2配送センター



関東施設

・最寄駅: JR東日本 古河駅
・見学時間: 3時間

- ☆ 選別センター
 - ・発泡PS容器 色選別
 - ・透明容器 素材選別
- ☆ リサイクル工場
 - ・PS容器リサイクル
- ☆ 配送センター・ピッキングセンター
- ☆ 関東八千代工場
 - ・PSP(発泡PS)製品生産
 - ・二軸延伸PETシート生産
 - ・二軸延伸PET透明容器生産



最新鋭の生産 ~ 物流 ~ リサイクルをご覧ください。

經常利益増減要因 推移

単位:億円

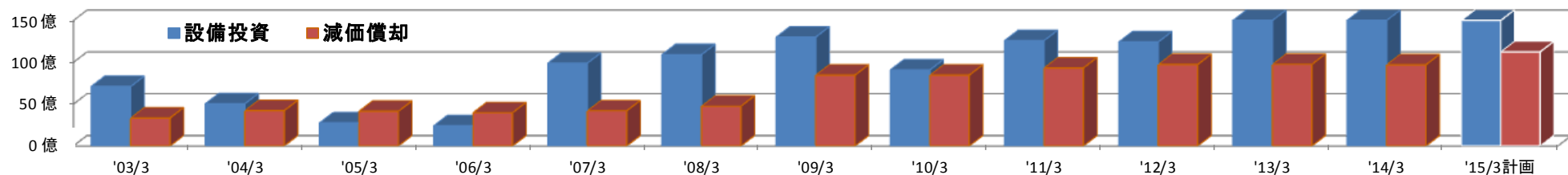
	41期	42期	43期	44期	45期	46期	47期 '09/3			48期 '10/3			49期 '11/3			50期 '12/3			51期 '13/3			52期 '14/3			53期 '15/3 計画					
							上	下	通期	上	下	通期	上	下	通期	上	下	通期	上	下	通期	上	下	通期	上	下	通期			
前期 經常利益	63.1	28.6	33.6	36.3	66.5	81.2	32.0	32.5	64.5	39.2	53.7	92.9	60.1	62.1	122.2	68.3	66.4	134.7	69.2	80.3	149.5	75.3	75.9	151.2	51.1	49.4	100.5			
原料値上り影響	-6.0	-13.8	-36.5	-10.0	-13.0	-39.5	-14.0	-23.0	-37.0	-25.0		-25.0																		
							原料値下り			+44.0	+34.0	+78.0																		
							原料再値上り			-6.0	-13.0	-19.0	-11.0	-12.0	-23.0	-19.0	-18.0	-37.0	-3.0	-12.5	-15.5	-18.0	-28.0	-46.0	-7.0	-3.0	-10.0			
製品値上げ	-25.0	+7.7	+29.2		+4.0	+9.0	+14.0	+24.0	+38.0	+25.0		+25.0				+10.0	+22.0	+32.0	+6.5	-	+6.5									
							第1次 製品値下げ			-24.0	-20.0	-44.0										+2.0	+13.0	+15.0	+12.0	+4.0	+16.0			
							第2次 製品値下げ			-10.0	-9.0	-19.0													-3.0	-10.0	-13.0	-6.0	-	-6.0
素材切替・軽量化			+2.0	+8.0	+8.6	+11.8	+6.0	+18.5	+24.5	+14.0	+6.0	+20.0										新素材効果			+2.0	+6.0	+8.0	+5.0	+8.0	+13.0
販売増・Mix改善		+45.0		+17.5	+5.8	+3.0	+4.5	+2.5	+7.0	+3.0	+3.0	+6.0	+11.0	+10.5	+21.5	+7.0	+8.0	+15.0	+9.0	+12.0	+21.0	+1.0	-	+1.0	+2.0	+4.0	+6.0			
生産改善	+2.4	-0.6	-2.0	+6.0	+8.7	+3.0	+0.5	+2.0	+2.5	+4.5	+5.0	+9.5	+6.0	+6.0	+12.0	+5.5	+3.5	+9.0	+1.0	+1.5	+2.5	+1.0	-	+1.0	+1.0	+3.0	+4.0			
物流改善	+0.3	-14.0	+12.2	+5.5	+8.0	+5.7	+1.8	+3.2	+5.0	+4.5	+5.0	+9.5	+4.0	+4.0	+8.0	+2.0	+2.0	+4.0	+1.0	+0.5	+1.5	+1.0	-	+1.0	+1.0	+2.0	+3.0			
グループ会社利益改善										+2.5	+2.5	+5.0	+2.0	+3.5	+5.5	+3.0	+2.0	+5.0	+0.5	+0.5	+1.0	-	-1.0	-1.0	+0.5	+1.5	+2.0			
美術品売却益			+1.0	-1.0			+4.0		+4.0	-4.0		-4.0																		
経費増加	-6.2	-19.3	-3.2	+4.2	-7.4	-9.7	-9.6	-6.0	-15.6	-7.6	-5.1	-12.7	-4.0	-7.5	-11.5	-7.6	-5.6	-13.2	-8.9	-6.4	-15.3	-10.0	-7.0	-17.0	-7.5	-10.0	-18.5			
増減計	-34.5	+5.0	+2.7	+30.2	+14.7	-16.7	+7.2	+21.2	+28.4	+20.9	+8.4	+29.3	+8.0	+4.5	+12.5	+0.9	+13.9	+14.8	+6.1	-4.4	+1.7	-24.0	-27.0	-51.0	+1.0	+9.5	+9.5			
当期 經常利益	28.6	33.6	36.3	66.5	81.2	64.5	39.2	53.7	92.9	60.1	62.1	122.3	68.3	66.4	134.7	69.2	80.3	149.5	75.3	75.9	151.2	51.1	49.4	100.5	52	59	111			

設備投資 研究開発費 推移

	'03年3月期	'04年3月期	'05年3月期	'06年3月期	'07年3月期	'08年3月期	'09年3月期	'10年3月期	'11年3月期	'12年3月期	'13年3月期	'14年3月期	'15年3月期 計画
生産	山形工場				下館第二工場	中部第二工場	九州第二工場	太洋興業 ウツド工場	日本ハール容器 フードパック設備	ダイヤフーズ アルライト	北海道工場増設	関東八千代工場	開発・研修棟
物流	東日本ハブC 九州HC 関西HC	北海道HC			関東八千代C	新北海道HC		新福山PC	新中部PC		関東PC拡充	九州物流拠点 関西物流拠点 福山クロスック 八王子C	透明容器の強化
リサイクル					中部・東北・九州リサイクル工場			容器選別センター全国展開 洗浄ライン 設備刷新 中部リサイクル工場	新リサイクルネットワーク構築				NPR
その他					東海HC建物	本社事務所	福山地区土地・建物 関東新工場土地	中部地区土地・建物	ユカ商事 インターパック			九州物流拠点土地 関西物流拠点土地	八王子拠点土地

単位:百万円

設備投資	7,096	5,037	2,742	2,394	9,885	10,909	13,007	9,090	12,585	12,423	15,087	20,257	26,000
有形	6,138	4,248	2,621	2,156	9,523	10,655	12,166	8,827	12,352	12,093	14,783	19,750	25,800
無形	958	789	120	238	362	254	841	263	233	329	303	506	200
内金型	780	460	436	550	771	609	1,892	1,507	1,833	1,946	1,425	2,151	2,360
減価償却	3,339	4,210	4,134	3,965	4,194	4,742	8,467	8,461	9,316	9,728	9,746	9,703	11,235
研究開発	654	628	689	751	895	913	965	1,035	1,101	1,051	1,062	1,148	1,270



>> '09年3月期より設備投資には、リース調達を含む投資額を表示しております。